

# ビワの葉+茶葉で

# 血糖値 中性脂肪 ↓



## 長崎県と3大学 健康茶開発

長崎県は26日、特産のビワの葉と茶葉を使い、健康に効果がある茶を大学と共同開発したと発表した。ネズミと人を対象にした実験で血糖値や中性脂肪を下げる効果を確認したといい、飲料メーカーと提携して商品化を目指す。

研究は長崎シーボルト、長崎、九州の3大学とともに実施した。ビワと茶の葉をもみ込んで発酵させる製法で開発。この茶とビワ茶、緑茶の

ビワとお茶の葉を交ぜ合わせて開発された高機能発酵茶 (手前)

成分をそれぞれ入れた餌、通常の餌の計4種類を、糖尿病を発症しやすい別々のネズミに5か月間与えた。その結果、この茶の成分が入った餌を食べたネズミの血糖値は通常の餌の場合の3分の1、ビワ茶、緑茶の場合の半分程度。糖尿病を発症しにくいネズミとほぼ同じ数値となった。中性脂肪の値も、ほかの3種類の餌を食べたネズミの約半分に抑えられた。

さらに、県職員や大学生約80人が3か月間、この茶を毎日0.4g飲んだところ、血糖値や中性脂肪が下がったという。

県などは茶葉に含まれるカテキンと、ビワの葉の何らかの成分が化学反応して生まれた成分が、効果をもたらしたとみている。この茶をいれると薄い紅茶のような褐色で、後味はほのかに甘い。製法や成分など7件の特許を申請している。